

2022. 9. 14

報道関係者 各位

&lt; 配信枚数2枚 &gt;

**2022年度 琵琶湖・環境イノベーション研究センター  
シンポジウム「海や湖の豊かさを守ろう」開催**

日 時：2022年9月22日（木）14：00～17：50

開催方法：現地開催（立命館大学びわこ・くさつキャンパス）とオンライン同時開催

立命館大学琵琶湖・環境イノベーション研究センターは、9月22日（木）、「海や湖の豊かさを守ろう」と題したシンポジウムを現地会場とオンラインで同時開催いたします。

当センターは、琵琶湖を持続可能社会・環境のモデルケースとして、琵琶湖から得られた環境技術研究成果や新たな知見を「琵琶湖モデルの環境技術研究」として世界に展開することを目標としています。具体的には、琵琶湖および周辺水域に加えて、広く世界の湖沼・水域・流域環境の環境保全・改善を図るべく、水・土・大気の3つの環境要素を中心に、学部学科横断型・複合的な研究を実施しています。

本シンポジウムでは、オーストラリアのグリフィス大学で淡水湖の水質予測モデリングを研究するエドアルド ベルトーネ博士、海洋プラスチック汚染研究の第一人者である九州大学の磯辺篤彦教授、国際陸水学会でマイクロプラスチックに関する研究発表をした立命館守山高等学校の君付茉優さんをゲストにお招きします。専門家や学生による発表を通して、SDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」の取り組みの現状を知り、海や湖の環境保全への理解を深める機会となれば幸いです。

記

日 時：2022年9月22日（木）14:00～17:50

（開場 13:30、ウェビナー入室開始 13:50）

開催方法：現地：立命館大学びわこ・くさつキャンパス ローム記念館 5階 大会議室  
オンライン：Zoom ウェビナー

対 象：どなたでもご参加いただけます。

参加費：無料 ※事前申込制

申込方法：来場参加（定員 100人）

<https://bit.ly/biwakan220922b>

オンライン参加

<https://bit.ly/biwakan220922a>

主 催：立命館大学琵琶湖・環境イノベーション研究センター

※詳細は別紙をご覧ください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、徹底した感染防止対策を講じた上で開催します。

※感染状況により実施形態や登壇者の発表方法が変更になる場合がございます。

以上

本リリースの配布先：草津市政記者クラブ

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学琵琶湖・環境イノベーション研究センター 事務局 担当：堀井

TEL. 077-561-2802 Email. t-horii@ed.ritsumeikan.ac.jp

別紙

<プログラム> ※敬称略

14:00 開会挨拶

久保 幹(立命館大学生命科学部 生物工学科 教授)

14:10 講演「改良型予測モデルと光学センサーによるアオコ管理の最適化」

Edoardo Bertone (School of Engineering and Built Environment, Griffith University)

※通訳あり

14:50 学部生・院生による研究発表

15:55 休憩

16:05 講演「海洋プラスチック汚染研究の現状と今後の展望」

磯辺篤彦(九州大学 応用力学研究所附属 大気海洋環境研究センター主幹 教授)

16:45 講演「琵琶湖におけるマイクロプラスチックの個体数密度と成分」

君付茉優(立命館守山高等学校 3年生)

17:15 休憩

17:25 学部生・院生による研究発表 優秀発表賞の表彰

17:40 閉会挨拶

大上芳文(立命館大学理工学部 機械工学科 教授)